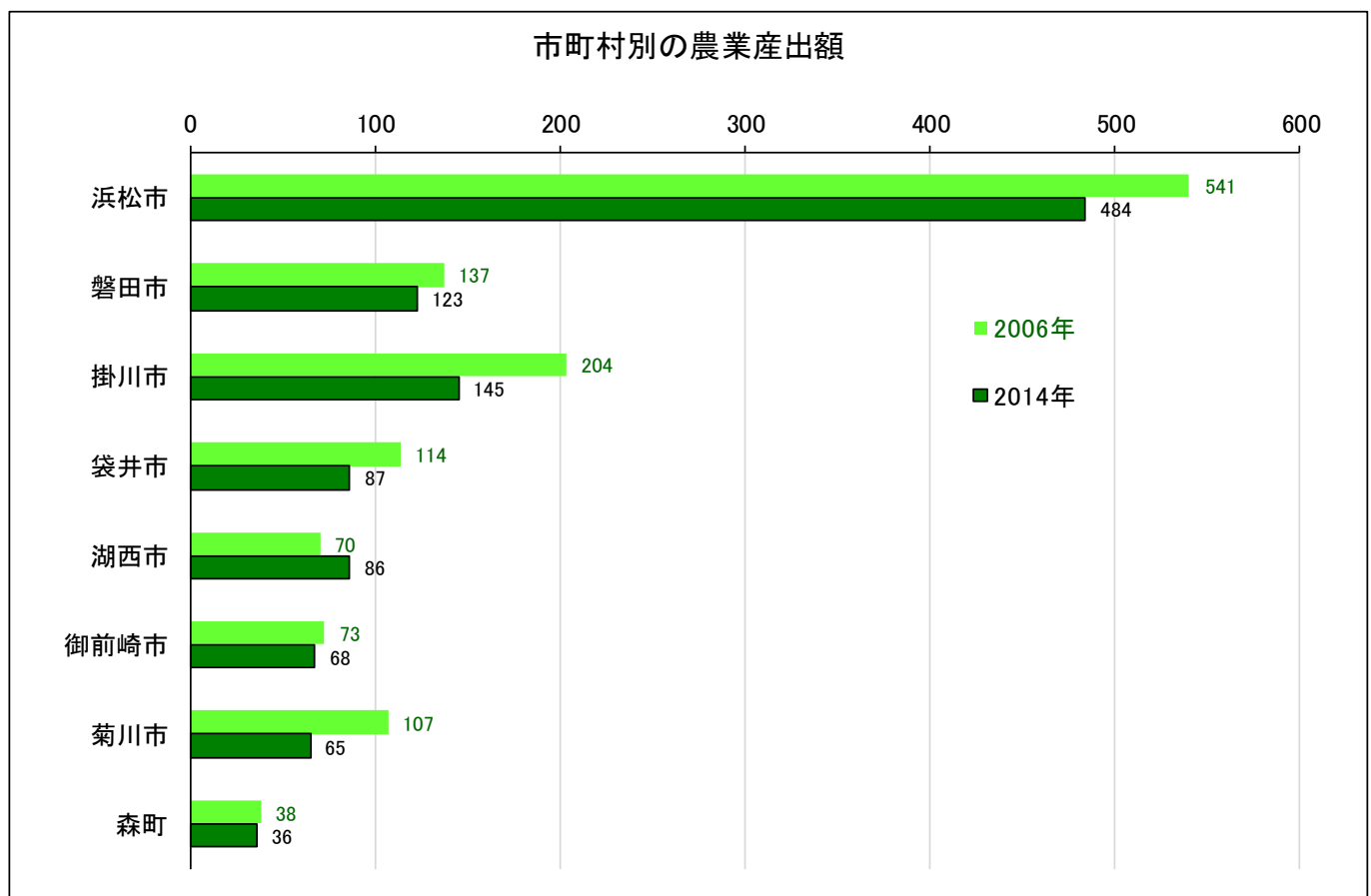


遠州地域の農業

農業生産の実態を把握し、農業施策の推進や企画の基礎となる重要な基礎資料として、農林水産省から毎年、農業産出額が公表されますが、2006年を最後に市町村単位の算出額が公表されなくなりました。それ以降は市町村単位の実態が把握できない状況が続いていましたが、農業の成長産業化に向けて現場の実態を重視した施策展開が求められている現状に鑑み、8年ぶりに市町村単位の算出額が公表されることとなりました。

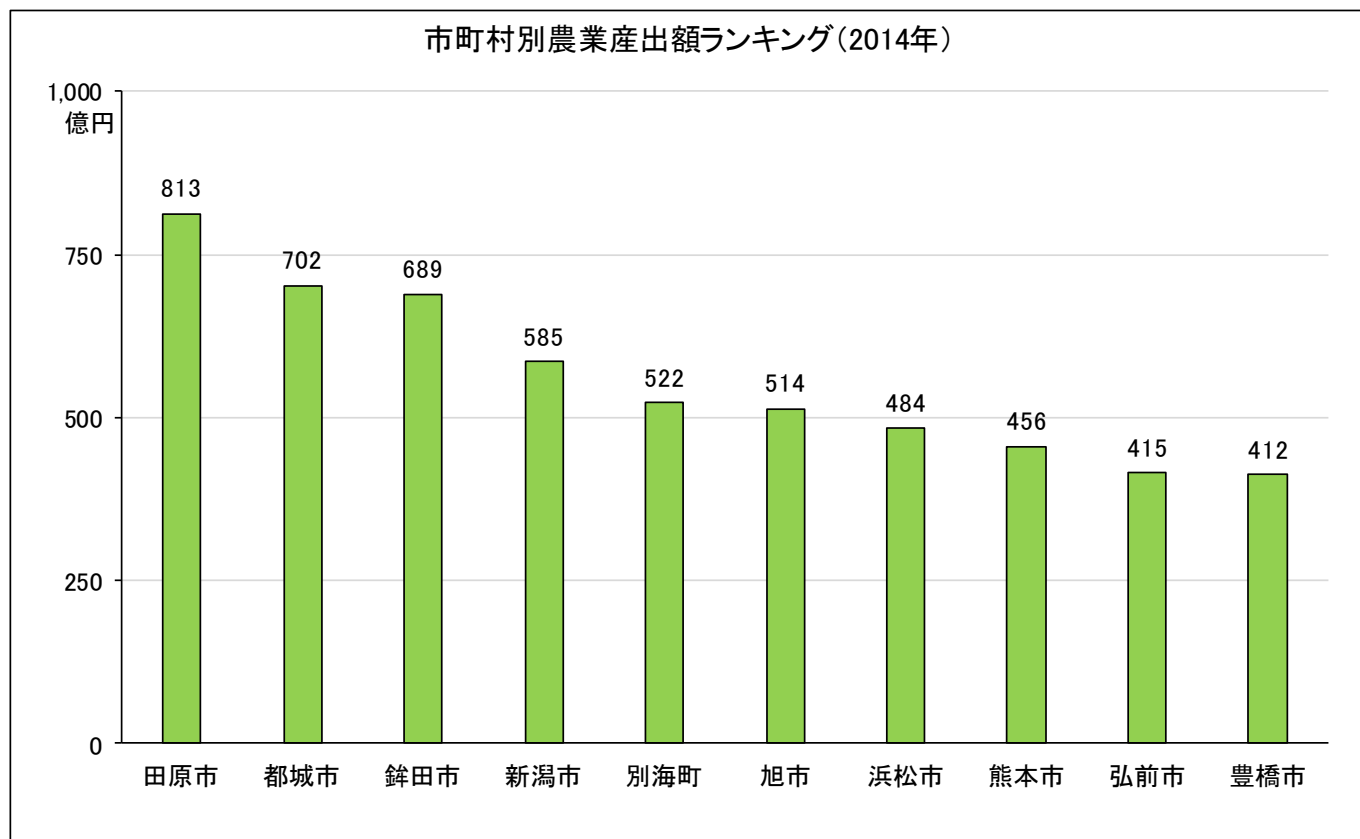
市町村別の農業産出額

8年ぶりに公表された2014年の農業産出額によると、遠州地域の農業産出額は1,093億円となり、前回調査の2006年と比べて190億円の減少となりました。遠州地域を市町村別にみると、農業産出額の最多は浜松市の484億円、次いで掛川市の145億円となりました。遠州地域7市1町の増減をみると、湖西市が2006年と比べて16億円増加しましたが、残りの6市1町はいずれも減少しました。減少の大きい市町は、掛川市が最も大きく、59億円の減少、次いで浜松市が57億円の減少、菊川市が42億円の減少となっています。



市町村別のランキング

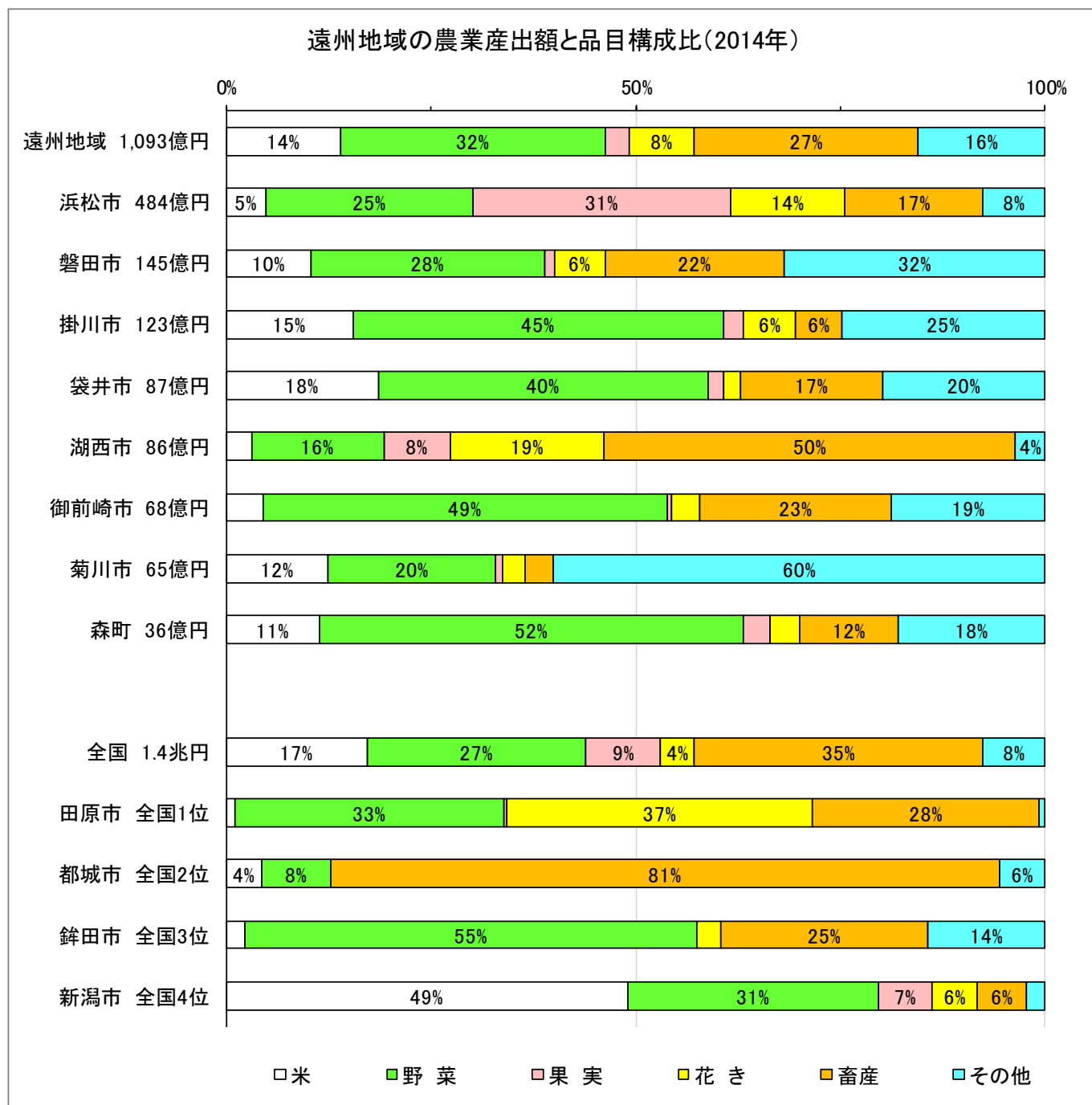
市町村別の農業産出額を全国上位順に並べてみると、全国1位が愛知県田原市の813億円となり、2位が宮崎県都城市の702億円、3位が茨城県銚田市の689億円となり、浜松市は484億円で全国7位となりました。浜松市は2006年の前回調査では4位だったため、前回調査よりも3つ順位を落としたこととなりますが、前回よりも57億円減少したことが順位を落とした要因です。浜松市より上位の市町をみると、前回調査よりも減少したのは新潟市のみ、残りの市町はいずれも増加しました。とは言え、近隣の市町では豊橋市が10位となっており、遠州・東三河地域は全国有数の農業産地であることは間違いありません。



遠州地域の農業品目の構成

農産物の品目構成をみると、その地域の特徴が分かります。遠州地域の品目構成は全国と比べて「野菜」と「花き」、「その他」の割合が多いのが特徴です。遠州地域の各市町をみると、浜松市は「果実」や「花き」の構成比が全国と比べて特に高くなっています。掛川市や袋井市、御前崎市、森町では「野菜」の構成比が特に高くなっており、磐田市や掛川市、袋井市、御前崎市、菊川市は「その他」の割合が高くなっています。「その他」の構成比が高いのは「お茶」の産出額が高いためです。

全国の上位市町をみると、全国1位の田原市は「花き」が、2位の都城市は「畜産」が、3位の銚田市は「野菜」、4位の新潟市は「米」といったように、全国順位の高い市は何らかの有名な産地となっています。



浜松市の果実の産出額は全国 2 位、花きは全国 3 位

浜松市は全国と比べて果実と花きの構成比が特に高くなっていますが、果実の産出額は全国 3 位、花きの全国順位は 68 億円で全国 2 位となっています。遠州地域ではありませんが、隣接する牧之原市が工芸農作物で 3 位となっており、お茶どころ静岡県の特徴を表しています。

浜松市の花きは日本一の生産量を誇るとされるガーベラをはじめ、菊やこでまり、スイトピー、フリーズアなど、また、果実はみかんやマスクメロン、次郎柿、ネーブル、ピオーネ、梨などの栽培が盛んです。とはいえ、こうした一大産地であっても意外と地域住民には知られていません。みかんやメロンのようなブランド価値を内外ともに高めていく取り組みも必要でしょう。

億円

全国順位	果実	花き	野菜	工芸農作物	米
1	弘前市 36	田原市 303	銚田市 381	宮古島市 93	新潟市 286
2	笛吹市 17	浜松市 68	田原市 268	南九州市 65	長岡市 134
3	浜松市 15	南房総市 38	熊本市 245	牧之原市 39	上越市 120

浜松市(20) 123

浜松市(152) 23

欄外の浜松市の()内の数値は全国順位

※グラフはいずれも農林水産省のデータを基に当研究所が加工作成しました